

東京2020みんなのスポーツフェスティバル 応募用紙（記載例①）

※**太線内** をご記入ください。

		申請年月日		2019	年	5	月	25	日
1 学校について	(1)学校情報	学校名	〇〇区立〇〇〇中学校						
		公立・私立・国立	公立		学校区分	中学校			
		国内の場合	都道府県名	区市町村名					
			東京都	〇〇 区					
		国外の場合	国名		児童・生徒数	323 人			
(2)連絡先	校長名	〇〇〇 〇〇〇	電話番号 (ハイフン無し)	0300000000					
	担当者名	〇〇〇 〇〇〇	E-MAIL	aaaa@aaaa.aa.aa					
(3)学校紹介	<p>本校は体を動かすことが大好きな生徒が多く、毎年の運動会は大盛況。お祭りなどの地域行事にもボランティアとして参加し、地域と連携した活動も行っている。また、部活動にも力を入れており、昨年度は、サッカー部が大会で上位に進出した。</p>								
特徴ある取組	取組の名称	シッティング玉入れ	実施年月日	2019	年	4	月	26	日
	参加学年	3年生	参加人数	78 人					
2 プログラムについて	<p>本プログラムの概要は、従来より行っている玉入れを、立位ではなく、座った状態で行うというものである。移動は、必ずお尻(臀部)をついた状態で行うものとした。</p> <p>従来のプログラムに、パラリンピック競技の要素を盛り込むことを狙いとし、パラリンピック競技であるシッティングバレーボールの要素を取り入れることにした。事前にシッティングバレーボールの歴史やルールを学習し、プログラム考案の参考にした。</p> <p>創意工夫を凝らした点は、普段車いすを使用している生徒が車いすを使用しないで参加できるよう、全員が座った状態で行うとしたことである。</p> <p>取組みの成果であるが、従来の玉入れに比べて籠に入れる難易度が高まったが、生徒に大好評であった。生徒だけでなく、教師や地域の方々も本プログラムに参加したことで、自主的にその他のパラリンピック競技を学習するなど、東京2020大会への関心が高まったと感じる。</p> <p>今回の結果を踏まえ、来年度以降も、実施していく予定である。また、今回応募したプログラムの他にも、オリンピック・パラリンピックの要素を取り入れたプログラムを考えていきたい。</p>								

東京2020みんなのスポーツフェスティバル 応募用紙（記載例②）

※ **人線内** をご記入ください。

申請年月日	2019	年	6	月	10	日
-------	------	---	---	---	----	---

1 学校について	(1)学校情報	学校名	〇〇市立〇〇〇中学校				
		公立・私立・国立	公立		学校区分	中学校	
		国内の場合	都道府県名	区市町村名			
			東京都	〇〇市			
		国外の場合	国名		児童・生徒数	354人	
		校長名	〇〇〇 〇〇〇		電話番号 <small>(ハイフン無し)</small>	0300000000	
		担当者名	〇〇〇 〇〇〇		E-MAIL	aaaa@aaaa.aa.aa	
		(3)学校紹介	<p>本校は、「学力・体力・人間力の向上」という教育目標を掲げ、生徒達の向上心を育む指導を行っている。オリンピック・パラリンピックの会場である〇〇スタジアムが近くにあることから、体力の向上には特に力を入れている。体育の授業のみならず、学校内でいつでも、安全に運動ができる環境を整えている。</p>				

2 プログラムについて	特徴ある取組	取組の名称	自己ベスト徒競走	実施年月日	2019	年	6	月	1	日
		参加学年	全学年	参加人数	354人					


本校では、年度初めに生徒全員が100M走のタイムを記録している。今回はその後の体育授業において動画撮影による全員のフォームチェックを行い正しい走法を学んだ上で、体育祭での自己ベストタイム更新に向け練習をした。

体育祭に向け全員が自己ベストという目標を掲げ、正しい走法を身につけ、全校生徒・教員が目標に向けて一体となって取り組むことを狙いとした。

より効果的に取り組めるよう練習期間に、教員あるいは生徒同士で動画撮影やフォームに対する助言をお互い行うなど工夫した。成果として、体育祭に参加した354人中221名が自己ベストタイムを更新出来た。努力が結果となった成功体験が生徒の自信につながり、更新できなかった生徒はその原因を考える良い結果となった。

来年度以降は、毎年種目を変えて実施していきたい。

東京2020みんなのスポーツフェスティバル 応募用紙（記載例③）

※  をご記入ください。

		申請年月日		2019	年	5	月	25	日		
1 学校について	(1)学校情報	学校名	〇〇区立〇〇〇小学校								
		公立・私立・国立	公立			学校区分	小学校				
		国内の場合	都道府県名	区市町村名							
			埼玉県	〇〇市							
		国外の場合	国名		児童・生徒数	572人					
2 プログラムについて	(2)連絡先	校長名	〇〇〇 〇〇〇		電話番号 (ハイフン無し)	0300000000					
		担当者名	〇〇〇 〇〇〇		E-MAIL	aaaa@aaaa.aa.aa					
	(3)学校紹介	本校は特別支援学級設置校であり、思いやり、やさしさ、心の教育に力をいれている。また、校庭の芝生化を図り、運動環境の整備も進めている。体育授業では、体操やダンスに力を入れている。〇〇オリンピックの体操銅メダリスト 〇〇選手の母校でもある。									
3 特徴ある取組	特徴ある取組	取組の名称	〇〇小ダンス(2020年バージョン)		実施年月日	2019	年	5	月	18	日
		参加学年	5年生 特別支援学級		参加人数	98人					
		<p>本校では約10年前に制作したダンスを毎年運動会で5年生と特別支援学級の生徒が踊っている。本プログラムの概要は、来年に東京2020大会が控えており、オリンピック・パラリンピック競技を表現した振り付けを教員と生徒が一緒になって考えて踊るというものである。</p> <p>取組の狙いとしては、生徒の自ら考える力・協調性を育て、特別支援学級の生徒との共同作業により多様性への理解等の醸成を図る点である。陸上、水泳、体操などの動きを振り付け化するとともに、また生徒のアイデアにより、動作の表現化が難しいパラリンピック競技は、ボッチャ、ゴールボールの名称の手話を振り付けにするなどの工夫をした。</p> <p>取組の成果として、定番化していたプログラムに良い刺激を与えることができた。手話の活用や表現の工夫により創造力の向上に資することができた。特別支援学級の生徒との共同作業では、作業が進むにつれ一体感を醸成することができた。</p> <p>来年度は再度オリンピック・パラリンピックをテーマとするとともに、その後はその年のトピックをテーマに継続していきたい。</p>									